

第99回教育研究評議会議事概要（案）

日時	平成24年12月21日（金）13時30分～15時20分
場所	事務局大会議室
出席者	中村（議長）、中村（慎）、櫻井（勝）、山崎、生田、中村（正）、前田、川幡、横山、村上、福森、松本、櫻井（武）、上田、山根、前川、岩見、井関、山本（健）、早川、玉井、大竹、松下、山本（博）、鏡味、加納、宇都宮、向田、柴田、青木、澤田、笠井
欠席者	柘植、富田
陪席者	古川、有松、鈴木、石原、小笠原、飯山、三浦、西山、廣田、森本、向、大久保、中西、西谷、池本

1 前回議事確認

第98回教育研究評議会（11月16日開催）

2 協 議

（1）平成25年度推薦入試及び帰国子女入試の合格者

教育担当理事から、〔資料1〕に基づき、平成25年度推薦入試I及び帰国子女入試の合格者について説明があり、審議の結果、承認された。

（2）営繕事業の要求方法等の変更

財務・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料2〕に基づき、金沢大学営繕事業の要求方法等の変更について説明があった後、施設管理部長から詳細説明があり、審議の結果、承認された。

（3）学生の懲戒処分

教育担当理事から、〔資料3・回収資料〕に基づき、学生の懲戒処分について説明があり、審議の結果、承認された。なお、関係部局長から、本件に関する謝罪があった。

3 報 告（1）

（1）教員人事

議長から、〔資料4〕に基づき報告があった。

（2）金沢大学の女性教員の現状と課題

総務・人事担当理事から、「金沢大学の女性教員の現状と課題」の審議の経緯について説明があった後、男女共同参画推進委員会委員長から、〔資料5〕に基づき、説明があった。

- (3) 平成25年度の障がいのある者の雇用計画
総務・人事担当理事から、〔資料6〕に基づき、平成25年度の障がいのある者の雇用計画について説明があった。
- (4) 平成25年度大学入試センター試験
教育担当理事から、〔資料7〕に基づき、平成25年度大学入試センター試験における試験場別志願者数について報告があり、本試験における全学的な協力依頼があった。
- (5) 平成25年度学年暦
教育担当理事から、〔資料8〕に基づき、平成25年度学年暦について報告があった。
- (6) 平成24年度公募事業一覧（金沢大学機関申請分）
研究・国際担当理事から、〔資料9〕に基づき、平成24年度公募事業一覧（金沢大学機関申請分）について報告があった。
また、議長から、能登里山マイスター養成プログラムの事業評価について、S評価を受けた旨の報告があった。
- (7) 大学間交流協定の締結
研究・国際担当理事から、〔資料10〕に基づき、本学とインドネシア共和国ガジヤマダ大学及び台湾輔仁大学との大学間交流協定の締結について報告があった。
- (8) 平成24年度補正予算(案)
財務・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料11〕に基づき、平成24年度補正予算(案)について説明があった。
- (9) 平成26年度概算要求
財務・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料12〕に基づき、平成26年度概算要求について説明があった。
また、議長から、資料「考えられる取組み」を参考に部局長に対し再度検討して欲しい旨の発言があった。
- (10) 石川県公立大学法人石川県立大学との大学間交流に関する包括協定の締結
評価・情報・社会貢献担当理事から、〔資料13〕に基づき、石川県公立大学法人石川県立大学との大学間交流に関する包括協定を締結した旨報告があった。
- (11) 情報セキュリティアンケート調査
評価・情報・社会貢献担当理事から、〔資料14〕に基づき、情報セキュリティアンケート調査の結果について報告があった。

(12) 教員の雇用上限数

議長から、〔資料15〕に基づき、教員の雇用上限数について、次のとおり発言があった。

- ・第Ⅰ期中期目標・中期計画期間においては、各部局の雇用上限数に、効率化分の係数と戦略分の係数の合計を乗じて削減数を算出していた。しかし、運営費交付金の削減に対応するために大学全体の雇用数を削減する効率化分と、大学全体としての雇用数に影響を及ぼさない戦略分を合計して管理することは適当でないことから、第Ⅱ期においては、別々に管理することとする。
- ・第Ⅰ期の繰越端数は第Ⅱ期の戦略分の供出数の算出において使用しており、その処理は終了していることから、今回の効率化分の算出には使用しない。
- ・戦略分は、研究域から供出して大学の強化に充てるという性格のものであり、大学の戦略に基づき設置されている附属病院、がん進展制御研究所、センター等には供出を課していない（第69回教育研究評議会：平成22年4月16日）。
- ・センター等については一括し、ひとつの単位として考える。センター等は大学の戦略に基づき設置されたものであることから、実削減数が生じた場合には大学が責任をもって対応する。なお、第Ⅱ期においては、センター等において実削減数は発生しない。
- ・効率化分は、運営費交付金の削減（第Ⅱ期前半(平成22～24年度)と同程度の削減を想定）に対応するためのものであり、今後何らかの事由により交付金の削減が行われなような状況が生ずれば、削減は行わない。
- ・算定上の削減数が実削減数を上回っているが、この部分については全学的な努力でカバーする。
- ・なお、戦略分については、全教員の5%を目標としている。
- ・効率化分と戦略分の考え方、戦略分の目標などは、次期学長に引き継ぐ。

4 その他

(1) 11月分のエネルギー使用状況

施設管理部長から、〔資料16〕に基づき、11月分のエネルギー使用状況について報告があった。

(2) 日本海イノベーション会議

研究・国際担当理事から、〔資料17〕に基づき、2012年度金沢大学〔第1回〕日本海イノベーション会議について説明があった。

(3) 第3回発がんスパイラル国際シンポジウム&金沢国際がん生物学シンポジウム

がん進展制御研究所長から、〔資料18〕に基づき、第3回発がんスパイラル国際シンポジウム&金沢国際がん生物学シンポジウムについて説明があった。

(4) 議長から、配付資料に基づき、金沢大学基金「創基150年記念留学生支援キャンペーン寄附募集」の現況について報告があり、当該キャンペーンへの協力依頼があった。

○第100回教育研究評議会 1月18日（金）13時30分から